

大潟商工会景況調査報告書

1. 調査要領

(1) 調査対象

- ア 対象地区 地区内小規模事業者
イ 対象企業数 34 事業所
ウ 回答企業数 34 事業所 (回答率100 %)

(2) 調査対象期間

平成27年7月～平成27年12月
(調査時点 平成27年12月1日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	2	5.88%	2	5.88%
建設業	6	17.65%	6	17.65%
卸・小売業	12	35.29%	12	35.29%
サービス業	14	41.18%	14	41.18%
合計	34	100.00%	34	100.00%

2. 地域内産業全体の景況概要

地区内景況のコメントする

人口の減少、高齢化率の進展、昼間人口の減少により、業種を問わず全体的に不景気感がある。特に温泉旅館においては極端に客数が落ち込み、売上確保に苦慮している。また、付随した飲食業種も売上が確保できず厳しい状況である。

【後継者の状況】

後継者状況をコメントする

事業継承のメリットがないことから、約7割の事業所で後継者なしと回答している。

後継者 あり	9事業所	26.5%
後継者 なし	25事業所	73.5%

【売上高】

地区内事業者の売上に関するコメントする

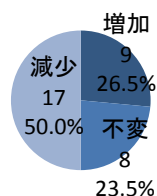
約半数の事業所で売上高が減少している。減少幅は事業所によって大きな差が表れている。

反面、自助努力により、2割の事業所は売上高を伸ばしている。

前年同期比

増加	不変	減少
9	8	17

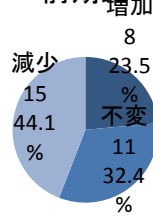
前年同期比



前期比

増加	不変	減少
8	11	15

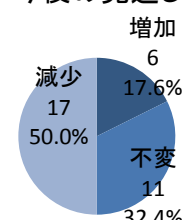
前期比



今後の見通し

増加	不変	減少
6	11	17

今後の見通し



【採算】

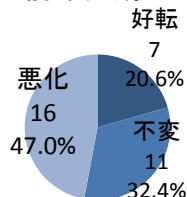
地区内事業者の採算性についてコメントする

約4割の事業所で不変と回答しているが、景気の不透明感から今後の見通しは更に悪化傾向となっている。

前年同期比

好転	不変	悪化
7	11	16

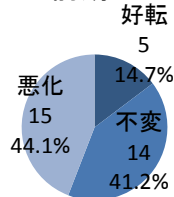
前年同期比



前期比

好転	不変	悪化
5	14	15

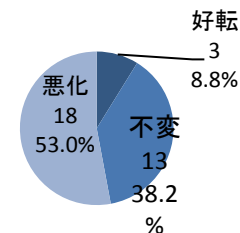
前期比



今後の見通し

好転	不変	悪化
3	13	18

今後の見通し



【仕入単価】

地区内事業者の仕入状況をコメントする
 原材料費の高騰で、業種を問わず仕入単価が上昇と回答している。
 その影響から採算も悪化傾向にある。

前年同期比

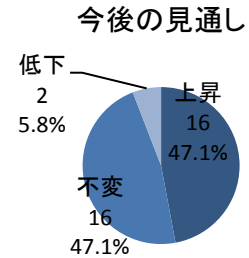
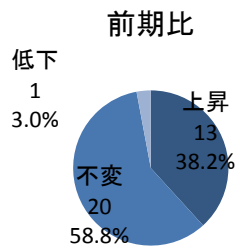
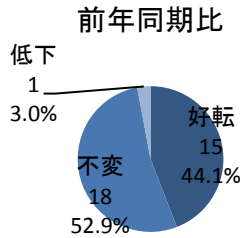
上昇	不変	低下
15	18	1

前期比

上昇	不変	低下
13	20	1

今後の見通し

上昇	不変	低下
16	16	2



【販売（客）単価】

地区内事業者の客単価等をコメントする
 客単価が不変と回答した事業所が約6割を占めているが、客数は減少にあるため、売上高は比例して減少にある。

前年同期比

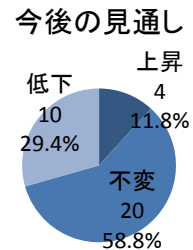
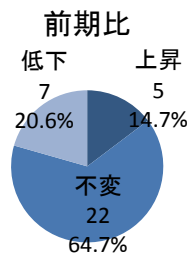
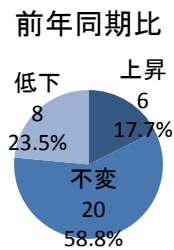
上昇	不変	低下
6	20	8

前期比

上昇	不変	低下
5	22	7

今後の見通し

上昇	不変	低下
4	20	10



【資金繰り】

地区内事業者の資金繰り状況についてコメントする。
 約6割の事業所で不変と回答しているが、利益額の減少から資金繰りに苦慮している事業所も多く見られる。

前年同期比

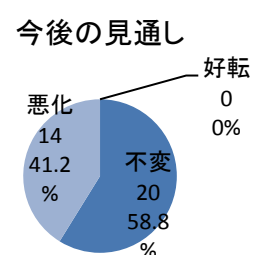
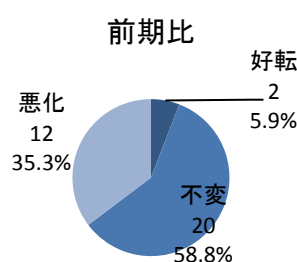
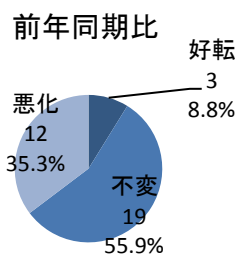
好転	不変	悪化
3	19	12

前期比

好転	不変	悪化
2	20	12

今後の見通し

好転	不変	悪化
0	20	14



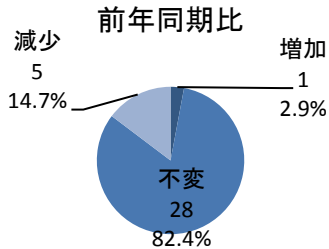
【雇用動向】

地区内の雇用動向をコメントする

約8割の事業所で不変と回答しているが、小規模の事業所では家族経営であるため、雇用者の実態がない事業所もある。

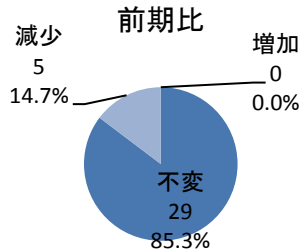
前年同期比

増加	不変	減少
1	28	5



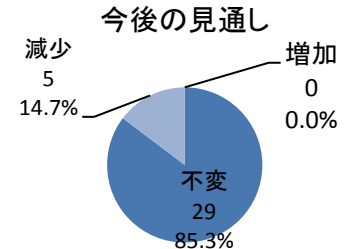
前期比

増加	不変	減少
0	29	5



今後の見通し

増加	不変	減少
0	29	5



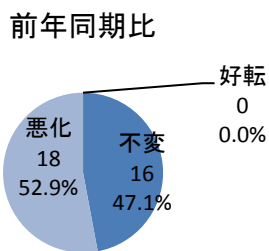
【景況判断】

地区内の景況判断についてコメントする

前年比及び今後の見通しで好転すると回答した事業所がほとんど無い状況である。特に今後の見通しについては悪化回答が多数あり、より厳しい状況である。

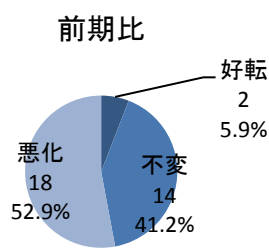
前年同期比

好転	不変	悪化
0	16	18



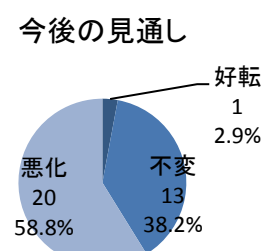
前期比

好転	不変	悪化
2	14	18



今後の見通し

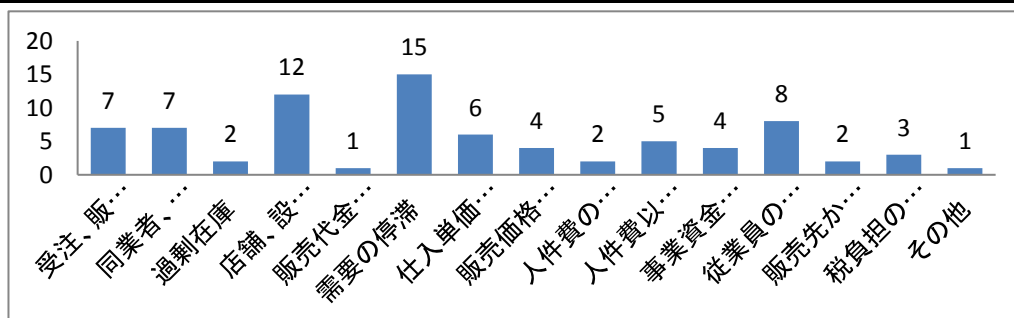
好転	不変	悪化
1	13	20



【経営上の問題点】

地区内事業者の経営上の問題点についてコメントする

景気の先行き不透明感から、個人消費が停滞している回答が4割を占めている。次いで、店舗等の老朽化と回答しているが、資金調達面を考慮すると設備投資もできない状況下にある。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

地区内製造業に係る景況状況をコメントする

受注はある程度確保されているものの、原材料費や人件費の高騰で、採算面で厳しい傾向にある。

(2) 建設業

地区内建設業に係る景況状況をコメントする

公共工事の発注高が相当落ち込んでいるため、極端に売上高の減少がみられる。

また、大企業の進出も更に拍車を掛けている。

(3) 卸・小売業

地区内卸、小売業に係る景況状況をコメントする

廃業率のトップが小売業者となっている。特に大型店の進出等により売上高・採算ともに減少にある。

(4) サービス業

地区内サービス業等に係る景況状況をコメントする

地区内で一番多い業種である。

理美容業の売上高の減少幅は少ないが、旅館業では約3割の売上高が減少にあり、設備の更新もできない状況で、この業種に付随して飲食業も同様な傾向がみられる。